

進路通信 No. 2

令和 5 年 9 月 発行
兵庫県立神戸聴覚特別支援学校
進路指導部

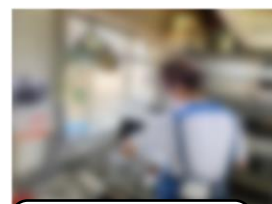


高等部 2 年生 職場体験実習

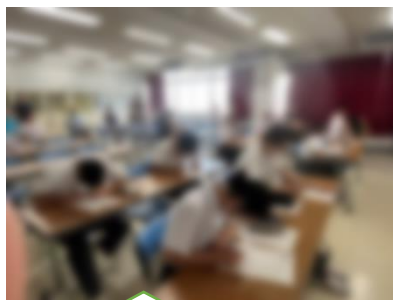
高等部では、1 年生 11 月、2 年生 7 月、11 月と計 3 回の実習に行きます。今年度、高等部 2 年生は下記のとおり実習に行きました。学校生活では学ぶことのできない実践的な活動で、貴重な体験ができました。受け入れていただいた実習先からは、様々な課題や今後身につけてほしい力など具体的なアドバイスをたくさんいただきました。今回の経験を今後の進路選択に生かしてほしいと思います。

実習先	勤務地	業種
特定非営利活動法人アイコラボレーション神戸	神戸市中央区	HP 作成等
株式会社ミックウェア	神戸市中央区	事務
神戸掖済会病院	神戸市垂水区	事務
シャープ特選工業株式会社(特例子会社)	大阪市	軽作業
株式会社すまいるこころ(特例子会社)	神戸市須磨区	清掃・軽作業
キャンパスカフェカプチーノ(B 型)	洲本市	接客
ゆとり作業所(B 型)	神戸市垂水区	ガラス細工作製、刺繍

実習後の事後学習では、それぞれの実習内容について発表を行いました。実習での困ったこととしては「話をしている内容が難しく(パソコンの専門用語など)意味を理解することが難しかった。」や「聞き取りにくいことがあった。」などの報告がありました。しかしその場合でも、「(単語の)意味は何ですか。」や「もう一度お願いします。」などそれぞれがしっかり対応していました。昼休みには「(会社や事業所の方に)手話を教えていました。」という人が何人かいました。2 年生のみなさんが積極的にかかわることで、周囲の方にも手話を覚えたいと思っていただけたと思います。



実習の様子



一人一人の発表後に 1 分間時間を取り、発表のメモをしています。聞いてメモをする練習も兼ねています。

発表の内容

- ・ 実習の内容
- ・ できた仕事、好きな仕事
- ・ 難しかった仕事
- ・ 困ったことは？どう解決したか？
- ・ 昼休みの過ごし方
- ・ 感想(実習を経験してどうだったか、これからの課題など)

実習の感想

学生と社会人では責任の重さが違うことがわかりました。メモを取ることが大切で、学校にいる間にメモをたくさん取る習慣を身につけようと思いました。



実習を通して確認することの大切さや報告をする重要さがわかりました。

高等部Ⅰ年生会社・事業所見学

高等部Ⅰ年生の7月、3月に会社・事業所見学をしています。今年度7月は、下記の場所に行きました。実習の発表に合わせ、見学先の内容や感想を発表しました。「バリアフリーが進んでいてすごいと思いました。」や「ナビなどの開発をされていて、ここで働いてみたい。」などの前向きな感想がありました。今後働く力を身につけて、11月の実習に臨んでもらいたいです。

見学先	所在地	業種
株式会社ニッセイ・ニュークリエーション(特例子会社)	大阪市	事務
リタリコワークス三宮	神戸市中央区	就労移行支援事業所
株式会社ミックウェア	神戸市中央区	事務

兵庫県特別支援学校技能検定

兵庫県では特別支援学校の生徒が、自立し社会参加するために、個々の進路希望が実現できるよう、生徒が身に付けた就労に関する力を公的に証明する技能検定を実施しています。

検定部門

・喫茶サービス部門

・ビルクリーニング部門

① ダスタークロス

② モップ

③ テーブル拭き

・物流・品出し部門

・パソコン部門

① データ入力

② 文字入力

③ 文書作成

高等部Ⅱコース①の『職業』という授業で、日々検定について取り組んでいます。あいさつやマナーをはじめ、清潔感や身だしなみ、正しい姿勢や立ち振る舞い、商品等の安全で衛生的な扱いなどを学び、技術を磨いています。

今年度は、本校で喫茶サービス部門の検定が行われました。本校の生徒は、審査をする方の厳しい視線の中、緊張しながら一生懸命頑張っていました。

